

9/22 SUN.

防衛産業に「たかる構図」



三菱重工は 敵基地攻撃ミサイルの製造 次期戦闘機共同開発から 撤退を!

武器輸出は 死の商人国家の道

9・22杉原浩司さん講演集会

とき

9月22日(日) 13:30開場 14:00開会

ところ

PLP会館5階大会議室

JR「天満」南8分、地下鉄「扇町」南東5分

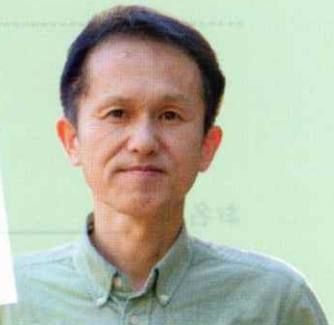


参加費

500円

賛同人・学生無料

杉原浩司さん



プロフィール

1984年京都教育大入学のうち中退
2012年「緑の党グリーンズジャパン」結成に参加
2015年「武器輸出反対ネットワーク」を結成、代表に
共著に『武器輸出大国ニッポンでいいのか』（あけび書房）『亡国の武器輸出』（合同出版）
近刊共著に『戦争でなく平和の準備を』（地平社）
雑誌『地平』創刊号、8月号の座談会に参加

いま世界ではウクライナやパレスチナで侵略や虐殺が続き、さらに「台湾有事」が叫ばれ、沖縄（琉球弧）・日本各地の基地強化が進んでいます。岸田政権は22年末に安保3文書を決定し5年間に43兆円の予算を組み、空母を保有し次期戦闘機を共同開発するなど、「戦争をする国」に急速にのめりこんでいます。さらに軍需産業育成・拡大のためミサイルなど殺傷武器の輸出を狙っています。「憲法9条を持ち、戦争をしない」国のあり方の全面転換です。

京阪奈丘陵にある祝園弾薬庫（トマホークミサイル貯蔵）が増強されます。日本第2の武器製造メーカー川崎重工（神戸）では自衛隊との癒着が発覚しました。いま軍需産業・武器輸出での経済再生を止めないと、この国は「死の商人国家」になります。この分野の第一人者＝杉原浩司さんを迎え、反戦・反軍備拡大の運動を強めましょう。

主催：9・22杉原浩司さん講演集会実行委員会